

大阪市の「放射性物質の測定方法に関する確認について」の報告に対する感想

日本環境学会顧問・元大阪市立大学大学院教授 畑明郎

1. 「焼却施設の排ガス中セシウムは、ほとんどが塩化セシウムで存在していると言われて
いる」とするが、その根拠となるデータや論文が示されていない。
2. 実験の配布資料の表1のデータを見ると、揮散したセシウム量より円筒ろ紙捕集セシ
ウム量は、5～10%減少しており、ガス状セシウムが揮散した可能性がある。